

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500153
法人名	株式会社 幸楽
事業所名	グループホーム こうらく園
所在地	鹿児島県薩摩川内市下甕町手打544番地 (電話) 09969-7-0900
自己評価作成日	平成29年11月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年12月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

手打海岸近くに立地し、潮風の音、においを感じながら、ゆっくりとお過ごしいただけます。
地域行事にも積極的に参加し、地域の中の施設を意識して運営しています。
施設は台所を中心とした配置で、共用部分の天井が高く、十分な広さがあり、ゆったりした生活スペースを提供しています。
認知症の症状進行の緩和を目的に、利用者が我が家にいるように安心して過ごせるスペース、環境づくりに努め、楽しいレクリエーション、食事等を企画し、実行します。
居宅生活への復帰を目指し、個性に合わせた、自立生活の援助を行います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、自治会に加入し、地域行事の夏祭り等を見物したり、ホームの敬老会では小学生と交流したり・中学生の職場体験学習・ボランティアの受け入れもしている。住民からの認知症相談などを受けアドバイスをするなど、地域貢献に取り組んでいる。
- ・共用空間のホールや廊下は広々として明るく、広いウッドデッキもあり、ゆったりとした開放感がある。居室は洗面スペースとトイレが備えられ居住性の高い造りとなっている。
- ・協力医療機関から月2回の往診や緊急時の対応など、連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念の周知教育を行い、理念に基づくサービスの実行ができています。	理念は、玄関や事業所内に掲示しており、重要事項説明書に掲掲している。毎月の職員会議で理念に沿ったケアができていますか振り返り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りに見学に行くこともある。ボランティアや慰問の受け入れも行っている。	自治会に加入し、夏祭りの見物に行ったり、寺の法要に参加することもある。ホームの敬老会で小学生と交流したり、中学生の職場体験学習やボランティア受け入れ等で地域と交流し、野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議で認知症への理解を進めている。ご家族への説明も詳しく行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域行事や独居高齢者などの情報収集及び意見を収集しサービスに反映させている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。提案でAEDを導入し研修を重ねて安全なサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>随時、相談・報告を行っている。情報交換も行っている。</p>	<p>市担当者に運営推進会議時や窓口に出向きメール・電話で気軽に相談できる関係を築いている。市から研修案内があり出席し情報交換している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設における身体拘束の定義を理解し、実践している。防止委員会の設置。</p>	<p>マニュアルを作成し、身体拘束廃止委員会を設置している。職員会議で研修を実施し、理解を深めている。転倒防止の為、ベッド横にマットレスを置く場合も家族の了解を得ている。日中の玄関は施錠せず、外出希望の利用者にはウッドデッキに出たり庭の散歩で気分転換を図り、制限のない生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設における、虐待の定義を正しく理解し、実践している。防止委員会の設置</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>内部研修・職員会議を利用して、人権について学ぶ機会をつくっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本人とご家族（身元引受人）の来園、見学を入所条件にしている。説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ケアプランに家族の意向を必ず記入してもらう。運営推進会議の場を利用している。</p>	<p>利用者には日々の生活の中で意見等を聞いて対応している。島外居住の家族が多い為、帰島時の面会で要望等を聞いたり、普段は家族の希望でラインを使って連絡や報告を行い要望等を聞いている。出された意見等は職員で話し合い反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議を開催し、反映している。また、日常的に施設長が申し送り等に参加し、状態を把握するよう注意している。</p>	<p>施設長及び管理者は、毎月1回職員会議で職員の意見等を聞く機会を設けており、物品購入の要望やケアについての意見が多く出され、可能な限り意見等を反映させている。管理者は日常的に個別相談に対応しアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談の実施などにより、環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ケアマネ、熟練者による、新規入職者への指導、支援を行っている。職員会議で問題点の指摘・改善の指導を行う。内部研修の実施。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の事例などを職員会議にて展開。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の中から本人の意思。意向を聞きだし、ケアプランに反映するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。また、電話対応は24時間受け付けている。また、SNSを通じたほほリアルタイムでの状況伝達。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成に反映させ、変更が生じた場合、家族の同意の上随時変更している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	良好な関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者と入居者家族がつながるよう、連絡体制をとっている。SNSを通じた連絡体制。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>訪問者は常時受け付け、面会していただいている。可能な限り本人の望む場所へ一緒に行くこともある。買い物・美容室。</p>	<p>馴染みの友人・知人の訪問の際にはお茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。手紙や電話の取次ぎなども行っている。帰島時の家族や友人の面会をいつでも受け入れている。家族と外食や墓参り等で外出・外泊したり、本人の希望に沿って職員が買い物や郵便局に同行するなど、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者がお互いの部屋を訪室することを特に妨げていない。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、相談・連絡体制をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思と、健康管理とバランスを保って接している。外出拒否・入浴拒否に対して、根気強く説得している。	日常の中で入浴時や夜勤帯に良く会話する利用者があり、その機会に本人の思いを把握するように努めている。月1回の買い物や郵便局での預金の引き出し、自動販売機で「飲み物を自分で選びたい」などの利用者の思いを職員で話し合い、利用者の楽しみに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他サービスの利用記録または診療記録を入手し、ケアプランに反映している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の行動を記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常記録を参考にケアプランを作成している。	本人の思いを中心に島外の家族や主治医の意見等を聞き、ケース会議で介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、それを基にして6ヶ月毎に及び状況変化時に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者の情報は、職員間で共有できている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院時などの対応</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事に参加又は見物に行くなどして、地域との関わりを続けられる支援を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけの医師の診察を受けている。</p>	<p>利用者のほとんどがかかりつけ医は協力医療機関である。月2回の訪問診療を受けており、結果を家族に報告している。緊急時はホームで対応し結果は主治医から家族に説明してもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設内に看護職員はいないが、協力医療機関との連携をとっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族との話し合い、医療との連携を図っている。	契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意を得ている。状況変化時に主治医から家族に説明し、再度家族の意向確認を行って意向に沿って支援している。職員の勉強会は実施しているが、看取り事例はない。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	連絡体制および避難経路、場所を決定している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	協力体制を確保している。	<p>昼間想定総合避難訓練を年2回実施し、1回は消防署の指導を受けている。地震・津波の地域合同訓練にも参加している。災害時の水・米・乾パン・インスタント麺・カップ麺・缶詰等の食料の備蓄があり、カセットコンロも用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議での職員への周知、家族様、来客様まで注意を周知している	職員会議で利用者への言葉かけの研修を実施している。折り紙の得意な利用者が児童に教えるなど、個々の力を発揮できる場面を作り、誇りを持ってもらえるよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	決定は難しいが、選択肢は提示している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度のタイムスケジュールを管理しているが、本人の意向に沿う形で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類の選択、化粧等の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえを共同で行ったり、あとかたづけを共同で行っている。	献立は職員が作成し栄養士の助言を受けている。個々に応じた食事形態で提供し、職員と一緒に片付け等をしている。利用者は誕生日の刺身やケーキ、行事食等を楽しみにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>日常記録から個人の状況を把握し、支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>うがい、ブラッシング等のケアを介助して行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の体調に応じた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンに応じ日中は自室へのトイレ誘導を行いトイレでの排泄を支援している。失禁時は自室トイレや周辺の拭き掃除を徹底し、臭い等が居室にこもらないように配慮している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ヨーグルト、牛乳等を個人の口に合うようにして提供している。排便の記録。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の意向に沿っている。	入浴は基本的に週3回、午前中になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。個浴を行い、希望で同性介助の支援をしている。入浴を拒む利用者には職員交代や時間調整など、職員間で連携して、入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝をする方、ベッドではなく布団がよい方、個人の意向を反映している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者が服用する薬については、職員が理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の趣味・特技を日々の生活で取り入れられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調に応じて、家族・友人との外出を許可し、職員が付き添い外出することもある。</p>	<p>天候の良い日は、ウッドデッキで日光浴をしたり、敷地内や海岸・近隣等の散歩をしている。花見や夏祭りに出かけたり、利用者の希望に沿ってドライブや買い物に同行している。家族と外食や墓参りなどで外出する利用者もあり、閉じこもらないよう外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症の症状を見究め、所持させている人もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話、手紙の支援を行っている。時間を限らず、電話を取り次ぐ。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常時、清潔にしている。</p>	<p>ホールは広く木の温もりがあり対面キッチンになっている。クリスマスツリーが飾られ、天井が高く高窓やガラス戸からの採光で明るくゆったりしている。空気清浄機やエアコンで快適な室内環境で、思い思いにくつろげるようソファが配置されて、居心地よく暮らしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	インテリアを工夫している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	施設から準備するものは最低限にしているので、使い慣れたものを入れられるよう、空間を確保している。	居室には洗面スペースとトイレがあり、ベッドとタンスが置かれている。本人の好みや必要に応じて、テレビ・時計・本・写真などを持ち込み、本人が落ち着いて過ごせるように配慮されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	手摺を全周配置し、居室入り口に名札を取り付け、一人で移動できるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない